

川越市合併50周年記念

小江戸川越ふるさと再発見！

～かわごえに伝わる民話と文化をたずねて～

11月26日(土)、午後1時～4時（開場＝午後0時30分）

やまぶき会館（入場無料）

昭和30年に周辺9か村と合併し現在の市域になってから、ことしでちょうど50年を迎えました。たくさんの市民の皆さんに愛され、はぐくまれてきた川越のまち。合併50周年を記念し、私たちの「ふるさとかわごえ」の魅力を探ります。

内容

「スマイルシティ・川越」フォトコンクール表彰式

第1部・講演会「小江戸川越おもしろ伝説の旅」

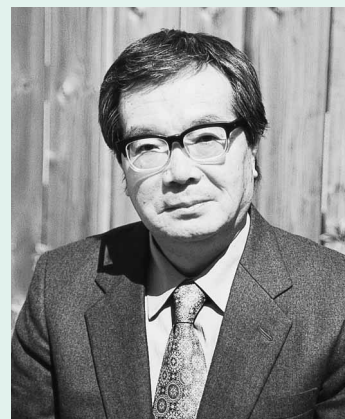
講師…小江戸川越大使・童絵作家・池原昭治さん

第2部・郷土芸能

老袋の万作（老袋万作保存会）

石原のささら獅子舞（石原のささら獅子舞保存会）

南大塚の餅つき踊り（南大塚餅つき踊り保存会）



池原昭治さん



老袋の万作



石原のささら獅子舞



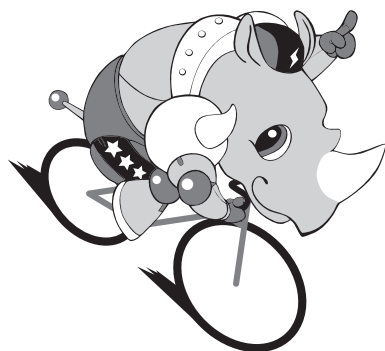
南大塚の餅つき踊り

*餅つき踊りでついたお祝いのもちを来場した方（200～250人程度）にふるまいます。

*手話通訳あり。

*駐車場が狭いため、会場へは公共交通機関をご利用ください。

問い合わせ…政策企画課企画担当・TEL内線2115



西武園競輪場キャラクター
さい☆ボーグ

平成17年度第1回川越市営西武園競輪

第45回日刊スポーツ新聞社杯争奪戦

前節＝11月16日(水)～18日(金)（FⅡ）、発走＝午前11時20分

後節＝11月30日(水)～12月2日(金)（FⅠ）、発走＝午前11時15分

開催場所…西武園競輪場（所沢市・西武園駅下車）

入場料…100円（15歳未満は無料）

●フリーマーケットを開催

上記競輪開催日の、午前10時～午後4時に競輪場内でフリーマーケットを開催します（入場料が必要です）。

問い合わせ…商工振興課商工係・TEL内線2723

Hello! ハロ姉妹都市

たなぐらまち 棚倉町

国際交流課国際交流担当・TEL 224・8811 内線 2142

ふるさと体験交流事業として棚倉町の皆さん二十八人が来川し、川越まつりに参加しました。参加者の一人である、菅井美江さんの感想文を紹介します。

川越まつりが、本年二月に国指定重要無形民俗文化財に指定され、本当におめでとございます。

この記念すべき年に川越まつりに参加し、友好都市として更に交流が深められたことは大変嬉しく、意義深いものとなりました。また皆を誘って参加したいと思います。

市長さんは、川越市民を代表する力強いあいさつで、年間およそ四百六十万人の観光客を、更に増員するため頑張りたいとのことでした。川越市民が、川越のまちが心ひとつになって熱く燃えている姿に、私達の心も熱くなり感動しました。

南通町の皆さんのご協力により、手拭いを鈴にかけ、大きな声でソーレと掛け声をかけながら山車を曳かせてもらい、初めてのことがながらお囃子の音色と共に奥深く心に



南通町の山車の前で、中央が菅井さん

しみいり一生忘れ得ぬ思い出となりました。浅敷席の山車揃えの見学では、二重鉦の下層からせり出してくる山車の華麗さと豪快さに圧倒され、舞とお囃子の音色がどの山車にも負けじとテレックテンと響く中で、どれも見落とすまいと一生懸命で観覧しました。また、本丸御殿では、歴代川越藩主の中で、棚倉藩主であった松平周防守康英公を確認し、改めて友好都市として意識を一層高めながらの帰路となりました。

最後に、川越市民の皆さまにはたいへんお世話になり、ありがとうございました。

*ふりがなは広聴広報課で付けました。

人権教育シリーズ

児童・生徒の作文⑤

教育指導課指導係
TEL 224・8811 内線 2925

平成十六年度に川越市内の小中学生から募集した作文をまとめた人権文集「あけほの」から、作品を紹介します。

幸せの使者①

小学六年生

Aちゃんは私のお母さんが介助している女の子です。女の子といっても、去年二十才になったそうです。介助とは食べ物を食べさせてあげたり、オムツをとりかえたりなどの、身の回りのお世話をすることです。Aちゃんは二十才なのですが、身体に重い障害があるので、話すことも、歩くこともできないそうです。

お母さんは介護施設で働いていますが、いつも、「今日は、はり絵をしてきたよ。」とか、「今日は、絵本を読んであげてきたよ。」

「Aちゃんは知ってるよなあ。前に話したもんね。お母さんが仕事を始めたばかりの時、Aちゃんに何をしたらあげられるかと思ってたんだよ。Aちゃんは脳に障害があつて、話すことも、歩くことも、できないんだから、かわいそうで、かわいそうで涙がこみ上げたんだよ。ほんまに。でも今はちがう。言葉がなくても何が言いたいかわかるし、それがまたうれしい。今では会話もできるし、お母さんにエネルギーをくれてる。あつたかい気持ちになつて、人を幸せにしてくれる子なんよ。すごいやろ。」

お母さんの話はつづきます。

(つづく)



*ふりがなは広聴広報課で付けました。

自治会創立40周年に記念誌を作成

霞ヶ関北自治会は、ことし創立40周年に当たり、記念誌を作成しています。少子高齢化の進む今日、同自治会では過去を振り返り、今をみつめると同時に、今後に視点を置き、これからの町をどのようにしていくのか、今住んでいるみんなで考え、みんなで創造していこうと始まりました。「50周年への橋渡しとして、コミュニケーションの活発な、福祉と防犯・防災に強い町にしていきたいですね」と制作委員会の皆さん。完成は来年1月の予定です。



編集作業中の皆さん

暮らし広がる地域の



自治会活動から